



車椅子を体験して視線の高さなどを確認する参加者一島田市内

**タクシー運転手
高齢者介助学が
島田で研修会**

ユニバーサルデザイン(UD)タクシーのドライバー育成を図る研修会が31日、島田市内で開かれた。県タクシー協会会員事業所14社の運転手ら約30人が、高齢者や障害者に対する接遇や介助の仕方などを学んだ。

参加者は、県車椅子友の会の青野全宏会長やユニバーサルドライパー研修専任講師資格者らによる講義をはじめ、車椅子を使った実習などに取り組み、タクシーで弱者の外出を支える重要性をあらためて実感していた。

金谷タクシー(島田市金谷本町)が県のしずおか型ニューツーリズム推進事業費補助金を受けて主催した。県内UDタクシーの第一人者でもある塚本昭社長は「UDに対するドライバーの意識や技術を底上げし、これまで旅行を諦めていた一人でも多くの人々の外出支援につながれば」と意義を話した。

認知症、障害者らの介助法学が

**交通弱者の外出
優しいタクシーに**

お年寄りや障害者、施。志太権原地区を中妊婦らさまさまな利用心で十四社から二十九者の外出を支援する人が参加した。

ユニバーサルドライパーを指す研修会が、参加者は専任講師ら実習。参加者は車椅子を折り畳んだり、スロップを車椅子で上った

市金谷軍士見町のお茶の郷博物館で開かれ、客とのコミュニケーションの留意点、高塚本社長は「乗務員の接遇向上を講義を受けた。国土外に出していただけることを目的に、同交通省が定めるユニバようサポートしたい」と話している

市金谷本町の金谷タクシー(塚本昭社長)が「仕様の基準も学んだ。

(土屋祐二)

島田 乗務員研修会に14社参加



車椅子に乗ってスロップを上る体験に取り組み、タクシー乗務員ら一島田市お茶の郷博物館で

島田でUD研修

静岡・島田市の金谷タクシー(塚本昭社長)は1月30日、県の観光・空港振興局観光政策課の補助事業としてユニバーサルドライブ(U-D)研修を開催した。お茶の郷博物館を会場に、志田榛原地区のタクシー会



講師を務める塚本社長

研修は午前9時から午後5時まで終日実施された。「タクシーが支えるこれからのバリアフリー」について千代田タクシ

社のうち14社の乗務員29人が受講した。タクシー会社主催のUD研修としては静岡市の千代田タクシー(加藤高立社長)に次いで県内では2例目。県もこれまで社会福祉部健康福祉局の補助事業として支援してきたが、今回の

「県のユニバーサルツーリズム」についての講話を聞いた。佐藤氏は「障害者が旅行に出かけることは、冒険への挑戦に等しく、大変勇気づけられる。その手助けをするユニバーサルドライバの社会的役割は大きい」などの見解を示した。

金谷タクシーの取り組みについては文化・観光部観光・空港振興局が補助した。塚本社長は「近くの事業者から開催要望があつたうえに、県観光政策課の補助で開催できた」と話した。来賓に観光政策課企画班の佐藤信太郎副班長を招き

1の加藤社長が担当。「お客さまとのコミュニケーションの留意点」については塚本社長、「お客さまの理解と接遇・介助の留意点」について社会福祉法人ヒロスの青野全弘副理事長が担当。